

令和元年 10 月 25 日

一般社団法人日本病院会  
会 長 相 澤 孝 夫

## 医療機関における電波環境の改善に関する要望書

電波環境協議会において、医療機関でのより安心・安全な携帯電話等の無線通信機器の活用のために、有識者、医療関係団体、携帯電話各社、総務省や厚生労働省等による検討が行われ、平成 26 年に「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」が取りまとめられ公表されました。国内の医療機関では、当該指針に基づき施設内での携帯電話の利用が開始されているところですが。

一方、病院内での携帯電話電波環境の整備は非常に遅れており、患者、患者家族の携帯電話、病院の業務用携帯電話が繋がりにくい等の意見が会員病院から寄せられています。更に、令和 2 年 7 月の PHS 公衆網停波に伴い、今後病院では PHS 端末から 4G 若しくは 5G 回線を活用したスマートフォン等への移行が急速に進展することが想定されます。

また、オンライン診療等をはじめ医療における ICT 化も今後ますます進んでいくことと思われれます。

当会としては、電波環境の整備は、医療機関や地域医療連携における効果的で効率的な医療の推進には欠かせない医療の ICT 化に向けた重要な課題であると認識しており、更に、災害時には医療機関は被災者対応の地域拠点となるため、BCP の観点からも早急に電波環境を整備する必要があると思っております。

つきましては、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、楽天モバイル株式会社（以下、四事業者という）へ下記のとおり要望をいたします。

## 記

- 今後 5 年間以内に、病院および病院の関連施設等への携帯電話電波環境の整備
- 携帯電話電波環境の整備にあたっては、四事業者の電波環境整備を同時に実施するため、病院での機器設置スペースも考慮し、四事業者が共用する設備の構成（共用アンテナ）  
※四事業者共用の設備については、株式会社日本病院共済会等が協力（設備を構築）し、四事業者に設備を有償貸与することで四事業者の経費負担を軽減。
- 開始当初は 4G による携帯電話電波環境の整備、将来的には 5G による携帯電話電波環境の整備

以 上